

■事業報告 平成24年度夏休み子ども招待事業

夏休み!たんけん博物館

平成24年7月21日(土)・27日(金)・28日(土)、8月10日(金)・11日(土)・18日(土)

当館では、遠方の市町村に住む小学生の皆さんを対象に、夏休み期間中、無料の送迎バスで博物館にご招待する事業を行っています。

今年度は、昨年度に引き続き、県内沿岸部の小学校に通う生徒とその保護者を対象とし、6日間で合計236名の方々を、当館にお迎えしました。

参加者のなかには初めて当館を訪れたという方もおり、まずはじっくり館内の常設展示を見学してもらいます。子どもたちは用意された特製の学習シートを片手に、館内に散りばめられた10個の「ミッション」をクリアしながら、広い博物館のなかを探検していききました。

また事業実施日は、当館にとって震災後初となる企画展「土偶まんだら」の開

催期間中に当たり、見学した子どもたちは全国から集合した土偶たちの不思議な造形に目を輝かせていました。

「土偶まんだら」展の見学の後は、子どもと保護者が力を合わせて、体験教室「土偶づくり」に挑戦です。複雑な遮光器土偶を忠実に再現する子、これまでになかったような姿の土偶を生み出す子と、さながらもう一つの「土偶まんだら」とも言えるような、個性的な土偶たちが完成しました。

作り終えた後ある男の子が「この土偶もいつか博物館で展示されるような宝物になるまで大事にとっておこう」と話して

いたのが印象的でした。

今回作成した土偶たちを、当館で過ごした夏休みの思い出とともに、いつまでも大事にもらえるならば、これほど嬉しいことはありません。

(学芸調査員 目時和哉)



■事業報告 第4回岩手県立博物館まつり

わくわくたいけん はくぶつかん

平成24年10月14日(日)

10月14日(日)、「わくわくたいけん はくぶつかん」をテーマに博物館まつりが開催されました。

博物館まつりは、子どもたちに博物館をより身近に感じてもらい、併せて、岩手県の文化活動を県民に紹介することを目的として企画された教育普及事業で、小学生を主な対象としています。平成23年度は東日本大震災のため、中止となっており、二年ぶりの開催となりました。

9時の受付開始時間には、たくさんの子どもたちが並び、列をつくりました。「こはくの玉づくり」・「化石のレプリカづくり」・「土偶づくり」・「火おこし」など定員のあ

るコーナーは、各回とも満員の大盛況でした。穀物を粉にする「石うすひき」や、昔ながらの笛や鉄砲であそぶ「昔あそび」は、民家で行われ、雰囲気たつぷりの体験となりました。館内を会場とした「変身しよう!」では、子どもがよろいやドレスを着て大変身、「チャレンジ!はくぶつかん」では、チャレンジマークを探してクイズに挑戦する子どもで展示室がにぎやかになりました。「アニメシアター」が上映された講堂では、親子で鑑賞する姿が見られました。

芝生広場では、五葉山火縄銃鉄砲隊伝



火おこし

承会の演武が行われました。秋晴れの空に火縄銃の轟音が響き、その迫力は、たくさんの観衆の度肝を抜きました。



五葉山火縄銃鉄砲隊伝承会の演武

民謡コンサートでは、「チャグチャグ馬コ」などの岩手の民謡が披露されました。

天候に恵まれ、総勢70人ほどの職員・ボランティアのスタッフと、3,000人を超えた来館者が、博物館で「秋の思い出づくり」をした一日でした。

(主任専門学芸員 阿部勝則)